

西日本インカレ（合同研究会）2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）オオサカケイザイダイガク	フリガナ）ケイエイガクブ	フリガナ）チームガルボ
大阪経済大学	経営学部	チームガルボ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ）チームガルボ	フリガナ）ツダ ノゾミ	4	無
チームガルボ	津田 望未		

研究テーマ（発表タイトル）

HAPPY? NOT HAPPY? 同性婚が認められる社会に

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

日本における同性婚の現状と、今後日本で同性婚が認められるにはどうすればよいのかを考える。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

日本では法律上、同性婚は禁止されていない。なぜなら憲法にも民法にも戸籍法にも「同性婚は禁止する」という文言は記載されていないからである。しかし、現状日本では同性婚は認められていない。その背景として、婚姻の制度がそもそも同性婚を想定していなかったことが挙げられる。

3. 研究テーマの課題

同性婚を承認するためには、法改正は必要になるのか。または、法改正ではない他の方法で認められるのか。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

同性婚を承認するための方法として、婚姻届の書式を変更すればよいのではないかと考えた。また、将来的には民法改正を目指す。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

聞き取り調査(兵庫県宝塚市役所・大阪府淀川区役所)、当事者のお話(南和行弁護士)

論文検証、LGBT 支援策を行う自治体の取り組みについて検証

6. 結果や今後の取り組み

同性婚は婚姻届の書式を変更するだけで認められることが分かった。憲法は改正するために多くの時間と労力が必要になってくることや、改正しなくても同性婚は認められるので改正しない。

7. 参考文献

南和行「同性婚 -私たち弁護士夫婦です」

南和行・吉田昌史「僕たちのカラフルな毎日～弁護士夫婦の波乱万丈奮闘記～」

小竹聡「憲法と同性婚」法学セミナー2016年6月号

法務省ホームページ「婚姻届」(<http://www.moj.go.jp/ONLINE/FAMILYREGISTER/5-2.html>)

宝塚市ホームページ

(<http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/kyoiku/jinken/1000112/1016495.html>)

淀川区役所 LGBT 宣言 (<http://www.city.osaka.lg.jp/yodogawa/page/0000232949.html>)

南和行「同性カップルの『結婚』と法律、そして憲法」大阪保険医雑誌 2016年6月号

清水 雄大「日本における同性婚の法解釈<上>」法とセクシュアリティ第2号(2007)

西日本インカレ事務局への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、西日本インカレ事務局への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までを渡します。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※その他、注意点については「企画シート・パワーポイントの作成および提出について」をご参照ください。